

平成31年1月30日

大町市長 牛 越 徹 様

大町市総合計画審議会
会長 岑村 修司

大町市第5次総合計画前期基本計画の進行管理について（答申）

平成30年10月26日付けで諮問を受けました大町市第5次総合計画前期基本計画の進行管理を行うため、市が実施した内部評価に基づき、本審議会による評価（外部評価）を実施した結果について、別添のとおり取りまとめましたので答申します。

今後、本審議会に取りまとめた意見について、「大町市第5次総合計画」における基本構想に定める将来像「未来を育む ひとが輝く 信濃おおまち」の実現のため、予算編成等に反映をいただくとともに、現在実施している施策や事務事業の効率性の向上、実施手法の改善など、質の高い行政サービスの提供に向け最善の努力をされるよう要望します。

1. 経緯

大町市総合計画審議会（以下「審議会」という。）は、平成30年10月26日付けで市長から諮問を受けた「大町市第5次総合計画前期基本計画」の進行管理について、4回にわたり審議会を開催し審議を行った。

2. 委員構成

会 長	岑村 修司	識見を有する者
副会長	伊藤 彰一	大町商工会議所
委 員	小野壽太郎	大北医師会
委 員	南澤 靖	大町市社会福祉協議会
委 員	中山 晴隆	大町市教育委員会
委 員	中村 勝彦	大町市連合自治会
委 員	石原 明	大北農業協同組合
委 員	遠藤 高弘	大町市観光協会
委 員	北澤 米子	大町市女性団体連絡協議会
委 員	田中 麻乃	大町青年会議所
委 員	山本 史	大北地区労働者福祉協議会
委 員	前川 浩一	識見を有する者
委 員	平林 操	識見を有する者
委 員	大日方三郎	公募委員
委 員	縣 正明	公募委員

3. 審議経過

平成30年

10月26日	第1回審議会	
	第5次総合計画前期基本計画	行政評価
11月13日	第2回審議会	
	第5次総合計画前期基本計画	行政評価
12月17日	第3回審議会	
	第5次総合計画前期基本計画	行政評価

平成31年

1月17日	第4回審議会	
	答申案の検討	
1月30日	答 申	

4. 審議会における意見

第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

施策目標4 移住・定住促進策等の充実強化

- ・当地域は関西からの観光客が多いことから、首都圏のみならず、関西圏における移住・定住セミナーを積極的に取り組んでいただきたい。また、移住相談において移住後の起業や新規就農に関する問い合わせも多いため、関係部署との連携を強化し、相談体制の充実に努めていただきたい。
- ・都市との交流を目的とした市民農園事業は、近年利用率が低い状況にある。施設の払い下げを含めた施設の有効活用について検討を進めていただきたい。
- ・移住、定住における環境整備に向けて、定住促進住宅の建設は継続して実施いただくとともに、幅広い年齢層が応募できるような選考基準や対象地区の見直しをいただきたい。また、活用されにくい空き家は、改修費用も過大となる場合が多いことから、空き家の活用が進むような改修補助制度となるよう見直しいただきたい。
- ・信濃大町ブランド戦略は、PDCA サイクルによりあらゆる視点からの検証を重ね、効果的で唯一無二のブランドとなるような見直しを積極的に進めていただきたい。

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

施策目標2 だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進

- ・福祉分野は、事業の幅も広く事業費も大きなものとなっている。事業内容や予算の妥当性、執行方法等について十分検証をいただき、効果的でない事業や生産性の低い事業は仕組みから作り直すなど検討をいただきたい。
- ・地域における新たな取組に関する説明会を実施する際は、事業目的を十分に把握したうえで、参加者にも分かりやすい説明をお願いするとともに、地域において同様の事業を既に行っていないかなど、実情を事前に把握するよう努めていただきたい。

施策目標 3 結婚・出産・子育て支援の充実

- ・子どもの虐待については、どこに相談したらよいか分かりにくい。慎重な対応が必要となるが、幅広く相談・支援が受けられるような体制づくりと周知に努めていただきたい。
- ・児童クラブや放課後こども教室を学校と一体化し、コミュニティスクールの枠組みに取入れるなど、地域のニーズに応じたより良い子育て支援の仕組みづくりに向け関係課において連携を強化していただきたい。
- ・子育て支援の情報を総括的に配信することが可能な「子育て支援アプリ」や、ソーシャルネットワークサービス等の活用により、子育てや仕事が忙しい方、産前産後で体調のすぐれない方が気軽に、かつ安全に相談できる仕組みについて導入をいただきたい。

第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち

施策目標 2 暮らしやすい都市基盤の整備

- ・ふれあいバス利用者のニーズを的確に把握しながら、現行の運行方法にとらわれることなく、地域の実情に合った効果的な運行に向けた検討を進めていただきたい。
- ・全国都市緑化信州フェアの開催を契機として、古い街並み、豊富な水、ポケットパークなどの地域資源を最大限活用した街歩きの仕組みを構築していただきたい。

第5 市民の参画と協働でつくるまち

施策目標 2 多様性に満ちた共生社会の実現

- ・人権意識の向上と啓発の推進にあたっては、より具体的な問題を取り上げるなど、参加意欲や問題意識が高まるような工夫により、多くの方に関心を持っていただくよう努めていただきたい。
- ・妊娠、出産を契機に女性は働き方を変更せざるを得ない場合があるが、女性の社会進出をさらに促進するために、行政と企業が連携し、働く場や働き方などを幅広く選択できる仕組みづくりを進めていただきたい。

5. まとめ

市長から諮問を受けた「第5次総合計画前期基本計画」の進行管理について、市から提出された内部評価票を基に平成30年10月26日から計4回にわたり外部評価を実施し、審議会の意見として取りまとめました。

特に、「第3 だれもが健康で安心してらせるまち 施策目標 2 だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進」の意見と重複しますが、

- ・事業内容や予算の妥当性等を検証し、効果的でない事業については、本来の事業目的に立ち返って抜本的な対応を検討する必要があります。
- ・地域説明会を行う際は、参加者に分かりやすい説明を行うとともに、地域の実情を事前に把握するよう努めていただきたい。

この2点については、市政全体に対する意見とさせていただきます。

審議会における意見、提言を市の施策や事務事業の改善、予算編成等に活用いただき、市民の視点に立った効果的な行政サービスの充実に繋いでいただきたい。